

社会資本総合整備計画の事後評価について

1 社会資本総合整備計画

社会資本総合整備計画とは、国庫補助金等の一つである社会資本整備総合交付金を活用して、市町村等が事業を実施する際に作成する計画のことです。

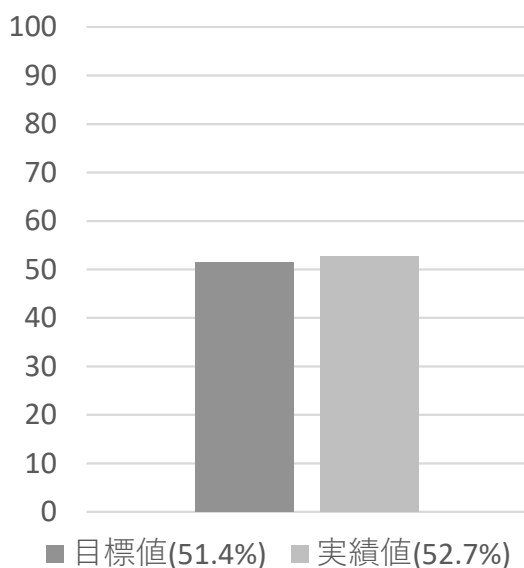
この計画は、事業の目標、期間、目標達成のための具体的な事業内容や費用などを記載したもので、計画期間の終了後は、目標達成状況を審議会等で評価・検証し、その結果を公表するよう、国の要綱等に定められています。

2 加須市の社会資本総合整備計画

- 計画名称 「加須市における豊かな自然と調和するまちづくり」
- 計画期間 令和2年度から令和6年度まで(5年間)
- 事業内容 川口地区における公共下水道整備事業
- 全体事業費 1,550,000千円
- 計画目標 下水道処理人口普及率^{※1}を48.9%から51.4%に増加させる
(※1 下水道処理人口普及率＝下水道を利用できる人口÷総人口)

3 計画目標の事後評価

計画目標の達成状況



〔評価結果〕 目標を達成

【参考】 事業費の内訳

